

最先端テクノロジーとデバイスを使った
次世代型体験コンテンツ

中城城がある土地は、
何千年も前に海から隆起して現れた場所。
太古から変わらずあり続ける地において、海の生物と人類が
生み出した遺産が創り出す神秘的な世界を体験する旅。
世界遺産の新たな価値を生み出すコンテンツをご体感ください。

琉球文化に触れる夜

沖縄・世界遺産 中城城跡なかぐすくじょうあと 夜間特別公開記念

2023年

11/23 (THU) ~ 26 (SUN)

参加費：大人 4,500円 子ども(18歳未満) 3,000円 ※3歳未満無料
※参加費には、バス代、中城城跡入城料、MRナイトウォーク参加費、弁当代(お茶込み)、旅行保険を含みます。
※雨天決行 詳しくは右記販売サイトまで

お申込は
こちらから



主催：中城村 企画運営：一般社団法人中城村観光協会

1日のスケジュール



行程

①集合 首里駅前バス停	1班 14:30	2班 15:30
②首里城観光	1班 15:00~15:30	2班 16:00~16:30
③東太陽橋(中城ハンタ道)	1班 16:10~16:40	2班 17:10~17:40
④中城城跡(城内観光)	1班 17:00~17:50 (サンセットウォーク)	2班 18:00~18:50 (ナイトウォーク)
⑤中城城跡(MR体験)	1班 18:00~19:00	2班 19:00~20:00
⑥解散 ゆいレール県庁前駅	1班 20:30	2班 21:30

※1班につき定員40名 ※②~⑥までは観光バスにて移動 ※MR体験は約15分間となります。
※歩きやすい履物でお越しください。

ハンタ道とは？

「中城ハンタ道」は、琉球王国時代前半の首里城から勝連グスクまでを結ぶ幹線道の中城村内を通る全長約6.2kmの歴史の道です。

沖縄の言葉でハンタとは崖のことで、中城村内では山の尾根や崖沿いに道が通っていることからハンタ道と呼ばれています。

12~14世紀頃までは集落やグスク間を繋ぐ道として利用され、15世紀に琉球王国を誕生させた尚巴志により王府と地方の情報伝達のために整備されました。

ハンタ道の起伏に富んだ地形や、東側に広がる村落風景と中城湾が重なる美しい景色は散策する人を楽しませてくれます。

令和元年文化庁「歴史の道百選」に選定。



あがいでいだいばし
東太陽橋

「1日の計は朝にあり、朝陽を拝み、1日の夢を抱く絶好の場所である」ということで東太陽橋と名付けられました。1日のパワーをもらえる朝日と絶景がみられるポイントです。



なかくすくしゅうあと
中城城跡

国指定史跡に指定・日本の100名城に選定。2000年12月2日「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の1つとして世界遺産にも登録されました。琉球のグスクで最も遺構がよく残っており、14~15世紀の沖縄を代表するグスクです。